2023 年 4 月

Insights in ArcGIS Enterprise 実装ガイド (Windows/Linux)

Windows または Linux での Insights in ArcGIS Enterprise の設定に関する基本的なタスクとベスト プラクティス

タスクのチェックリスト

タスク	完了
1. ArcGIS Insights の紹介	☐
2. ArcGIS Enterprise の設定	☐
3. Insights のインストールと構成	☐
4. Insights ライセンスの割り当て	☐
5. コネクタの構成	☐
6. その他	☐
7. FAQ	☐

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

1. ArcGIS Insights の紹介

組織で Insights in ArcGIS Enterprise の使用を開始することを決定していただき、ありがとうございます。GIS の経験がほとんどあるいはまったくなくても大丈夫です。今が、Esri のジオビジュアル アナリティクス ソフトウェアを開始するのに絶好の機会です。

ArcGIS Insights は、データの視覚化と解析を組み合わせて、迅速な意思決定を推進します。ArcGIS Enterprise での Insights のデプロイは、ファイアウォールの内側またはクラウド上で、安全なマッピングおよび解析を提供します。

解析機能の推進

対話型のチャートやマップから高度な解析まで、Insights には、多種多様な産業で利用されている幅広い機能があります。以下には、ガイド付き演習を伴う現実世界のシナリオの小さなサンプルがあります。演習は今すぐに確認して、このガイドの設定タスクを完了した後に戻ることができます。

- **データの視覚化** - 空間的および非空間的な視覚化は、ロー データを探索および解析できる形式に変換するのに役立ちます。カナダのオタワで対話型のマップとチャートを使用して交通事故を解析する方法について説明します。

- **高度な解析** - Insights を使用すると、データの視覚化から、リンク解析や高度な統計手法などの解析技術に簡単に移行できます。Insights のリンク解析を使用した世界的な難民危機の解析について説明します。

- **空間データ サイエンス** - 空間データ サイエンスとは、データの中の「なぜ」を探索することです。Insights では、スクリプト環境を使用して Python および R の機能を活用し、統計解析やデータ モデリングなどを行うことができます。Insights を使用して COVID-19 の病院への影響モデルを作成する方法について説明します。

- **対話形式のレポート** - 解析が終了したら、多くの場合、主要関係者に調査結果を報告することが重要です。Insights では、解析を対話形式のレポートとして共有できるので、関係者が調査結果を調べて、洞察を深めることができます。レポートを作成したり、Insights ギャラリーを使用して実世界の例を閲覧する方法について説明します。

Learn ArcGIS でその他の Insights チュートリアルを探す

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

ArcGIS の無料トライアルにサイン アップできます

Insights についてまだ決めかねている場合は、ArcGIS の無料トライアルに登録できます。21 日間のトライアルには、Insights in ArcGIS Online へのアクセスが含まれています。これを利用して、Insights in ArcGIS Enterprise をデプロイする前に Insights を理解することができます。

Insights in ArcGIS Online には、データベース接続と Insights のスクリプト環境を除く、Insights in ArcGIS Enterprise のすべての機能が含まれています。

Insights のデプロイメント オプションの詳細

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

2. ArcGIS Enterprise の設定

組織で Insights を使用することを決定したので、ArcGIS Enterprise を設定する必要があります。

> **注意:** 既存の ArcGIS Enterprise デプロイメントに変更を加える前に、ArcGIS Enterprise と Insights の互換性を必ず確認してください。

Insights in ArcGIS Enterprise は、ArcGIS Enterprise の基本デプロイメントの上にインストールされます。ArcGIS Enterprise の設定の詳細については、「ArcGIS Enterprise クイック スタート ガイド」をご参照ください。ガイドをすべて読む必要はありません。「ArcGIS Enterprise Builder の使用」 (4 ページ) と「メンバーの追加」 (6 ページ) に記載されている手順に従ってください。Insights の特定のライセンス要件に関する詳細については、このガイドで後述します。

Insights は単一コンピューターおよび複数コンピューターの ArcGIS Enterprise デプロイメント、および高可用性用に構成されたデプロイメントと互換性があります。

ArcGIS Enterprise の基本デプロイメントの準備ができたら、Insights のすべての機能をサポートするように、組織サイトの構成を開始できます。

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

3. Insights のインストールと構成

ArcGIS Enterprise の基本デプロイメントをインストールおよび構成したので、次は Insights をインストールします。Insights セットアップは My Esri からダウンロードできます。ArcGIS Enterprise デプロイメントと互換性がある最新バージョンの Insights をダウンロードすることをお勧めします。

管理者が構成できるプロパティがいくつかあります。タイムアウト制限やフィーチャ制限などのプロパティは、ArcGIS Server で構成可能です。デフォルトの構成を確認して、必要に応じて変更します。

セキュリティ設定

組織によっては、セキュリティ上の理由から特定のコネクタを無効化する必要がある場合があります。Insights のインストール プロセス中は、組織全体で Microsoft OneDrive、Microsoft SharePoint、および Jupyter Kernel Gateway コネクタを無効化します。

Insights in ArcGIS Enterprise のインストールの詳細

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

4. Insights ライセンスの割り当て

組織のメンバーには、Insights を使用する前に、必要なユーザー タイプ、ロール、ライセンスを付与する必要があります。ArcGIS Enterprise の管理者は、組織でユーザー タイプとロールの管理およびライセンスの割り当てを行うことができます。

> **注意:** 組織に Insights のライセンスがない場合や、追加のライセンスを購入する必要がある場合は、Esri アカウント マネージャーまたは Esri の営業担当者にお問い合わせください。

組織のそれぞれの Insights アナリストは、次のいずれかを持つ必要があります。

- **ユーザー タイプ** - Creator または GIS Professional
- **ロール** - 公開者または管理者
- **ライセンス** - Insights ライセンス

> **注意:** Insights には、管理者のみが使用できる機能がいくつかあります。そのため、管理者ロールを持つ 1 人以上の組織のメンバーに Insights ライセンスを割り当てることをお勧めします。

必要なユーザー タイプ、ロール、ライセンスが割り当てられた組織のメンバーは、Insights にアクセスしてサイン インできるようになります。

> **注意:** Insights を使用するのに必要なライセンスを持たない組織のメンバーは、閲覧者として Insights にアクセスできます。組織のメンバーは、レポートやワークブックをビューアーモードで開くことができるようになりました。

購入に関する詳細および補足情報については、Esri の営業担当者にお問い合わせください。

Insights でのライセンスの詳細

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

5. コネクタの構成

特定のコネクタからデータと機能にアクセスするには、組織で追加の構成を行う必要がある場合もあります。

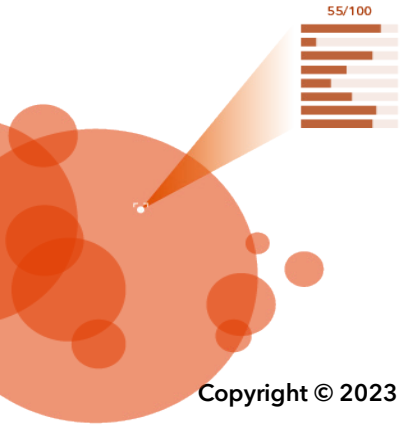
- **Microsoft OneDrive および SharePoint のコネクタ** - Microsoft OneDrive および Microsoft SharePoint は、多くの組織にとって重要なデータ リポジトリです。Microsoft 365 の管理者は、OneDrive または SharePoint への接続を作成する前に、Insights を Microsoft Azure に登録する必要があります。

- **データベース コネクタ** - 管理者は、組織のメンバーがデータベース接続の作成や組織の他のメンバーとの接続の共有に使用できるコネクタを追加することができます。また、組織の SQL Server データベースに必要な場合は、OS 認証を有効化することもできます。

  サポートされているデータベースの詳細

- **Jupyter Kernel Gateway** - Jupyter Kernel Gateway 接続は、Insights のスクリプト環境を通じて Python および R カーネルにアクセスするために使用されます。Jupyter Kernel Gateway は接続を作成するために必要です。

  Insights のスクリプトの詳細



Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

その他

おめでとうございます。このガイドの手順に従っていれば、組織で Insights in ArcGIS Enterprise を正常にデプロイできています。

このセクションに示されているリソースは、トラブルシューティング、質問への回答、今後のトレーニング コースの検索に役立ちます。

- Insights の配置プロセスを完了したので、「ArcGIS Insights の紹介」セクションのリソースに戻ることができます。
- Learn ArcGIS ギャラリーには、ArcGIS の学習に役立つチュートリアル、記事、ストーリー、ビデオのコレクションが用意されています。また、特定のトピックについての関連リソースのチュートリアル シリーズも含まれています。
- 「ArcGIS Insights リソース」ページには、推奨されている学習資料、ブログ、ドキュメントなどがあります。
- ArcGIS Insights ヘルプは、ソフトウェアの一般的な使用方法や特定のタスクの実行方法を理解するための重要なリソースです。キーワードで検索すると、新機能やよくあるご質問 (FAQ) などのドキュメントを見つけることができます。
- Esri コミュニティ (GeoNet) の ArcGIS Insights コミュニティにご参加ください。ここでは、他の Insights ユーザーや Esri スタッフとのディスカッションに参加したり、質問をしたり、将来使いたい機能のアイデアを送信したりできます。Insights チームからのその他のニュースについては、ArcGIS ブログをフォローしてください。
- Esri を含む GIS コミュニティは、ArcGIS Living Atlas of the World ですぐに使用できる数千もの高信頼性のデータセットを共有します。Living Atlas は、過去の国勢調査データから、オンラインのセンサー ネットワークや地球観測から得られた環境条件に至るまで、あらゆる情報をカバーしています。
- 技術的な問題については Esri テクニカル サポート、ライセンスの質問については Esri の営業担当者にお問い合わせください。

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.

FAQ

Insights の購入方法は？

ArcGIS Insights のライセンスを購入するには、Esri アカウント マネージャーまたは Esri の営業担当者にお問い合わせください。Insights のライセンスは、組織のエンタープライズ使用許諾契約に含まれている場合もあります。

ArcGIS Online で Insights を使用できますか？

はい。Insights は、ArcGIS Online や ArcGIS Enterprise にデプロイするか、デスクトップ アプリケーションとしてデプロイすることができます。

Mac で Insights を使用できますか？

Insights in ArcGIS Enterprise は、Windows または Linux 環境にデプロイできます。組織のメンバーは、macOS コンピューターを含むサポートされている Web ブラウザーを通じて Insights にアクセスできます。

Insights デスクトップは、すべての Insights ユーザーが利用でき、macOS コンピューター上にインストールできます。

Kubernetes 用の ArcGIS Enterprise で Insights を使用できますか？

Insights は、Kubernetes 用 ArcGIS Enterprise の今後のリリースで利用可能になる予定です。

Copyright © 2023 Esri. All rights reserved.